

1 小単元名「長く続いた戦争と人々の暮らし」

2 小単元の目標

＜社会的事象への関心・意欲・態度＞

日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦，その頃の国民生活とそれらにかかわる建造物等に関心を持ち，進んで調べようとしている。

＜社会的な思考・判断・表現＞

日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦，その頃の国民生活とそれらにかかわる建造物等について調べたことをもとに，戦争の実態や国民の被害，戦場となった地域の人々の損害，建造物等の意味などについて思考・判断したことを，文章などに適切に表現することができる。

＜観察・資料活用の技能＞

日中戦争，我が国にかかわる第二次世界大戦，その頃の国民生活について，地図や年表，戦争を体験した人の話，建造物やその他の資料などから必要な情報を集めて読み取り，効果的に活用することができる。

＜社会的事象についての知識・理解＞

我が国が戦時体制に移行して，敗戦によって国民が大きな被害を受けたこと，戦場になった地域に大きな損害を与えたことを理解することができる。

3 小単元について

『小学校学習指導要領』では，第6学年の「2 内容(1)ケ」で以下のことを取り扱うよう示している。

日華事変，我が国にかかわる第二次世界大戦，日本国憲法の制定，オリンピックの開催などについて調べ，戦後我が国は民主的な国家として出発し，国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

この内，「日華事変，我が国にかかわる第二次世界大戦」について，『小学校学習指導要領解説』では，第6学年の「目標と内容」の「2 内容」において，以下のように示している。

例えば，我が国と中国との戦いが全面化したことを取り上げて調べ，我が国が戦時体制に移行したことが分かるようにしたり，また，我が国がアジア・太平洋地域において連合国と戦って敗れたことを取り上げて調べ，各地への空襲，沖縄戦，広島・長崎への原子爆弾の投下など，国民が大きな被害を受けたことが分かるようにしたりすることである。また，これらの戦争において，我が国は，中国をはじめとする諸国に大きな損害を与えたことについても触れることが大切である。

また，実際の指導にあたっては，以下の点に配慮するよう示している。

例えば，学校図書館や公共図書館，博物館や郷土資料館などを活用したり，地域の高齢者に話を聞いたりするなどの活動を取り入れ，児童が自ら資料を活用したり調査したりして学習が具体的に展開できるようにすることが大切である。

これらを受け，本小単元では，日華事変から太平洋戦争へと続く15年にわたる戦時体制に至った背景やその経緯と被った損害について学習する。

資源の少ない日本は，1929年から始まった世界恐慌により国民生活の疲弊が深刻化した。その中で，軍の暴走に引きずられながら中国や連合国との戦争を始め，合理的な目的や戦略もないままに長く戦争を続けた。そして，正しい戦局の報告もせず，国民や戦場となった地域の人々に苦難を強いながら，多大な損害を与えた。終戦後，軍隊の解散，政党の復活，新しい憲法の制定など，戦争の問題点を克服していった。

未来につながる子どもたちを育てる上で，この戦争の学習は欠かせない。それは，単に敗戦の惨劇を知り平和を願う心情を育むことができるというだけではなく，民主主義や国際協調の大切さに気付くことができるという意味を含んでいる。本小単元の学習後，戦後の民主化，日本国憲法，政治，国際社会について学習するが，その中で本小単元の学習が生きることとなる。

また，終戦から66年が経過したこの戦争は人々の記憶から薄れつつあるものの，全国に建造物等や関連資料が残され，戦争体験者がいて，学習への支援を得ることができる。和田地区もその例外ではない。学習中・学習後を問わず関心・意欲が高まる環境にあるとともに，身近な史料を使つての調べ学習が可能である。

この小単元で、戦争にかかわる身近な史料を用い、戦争の背景や経過を調べさせながら、民主主義や国際協調の大切さに気付かせていくことで、より民主的で平和な世の中をつくる力を育むことができると思う。

4 児童について

男子19名、女子16名、計35名の学級である。

本学級において、本小単元に関するアンケートを行った。以下がその結果である。

問い : 歴史は好きですか。

回答 : 好き(21) まあまあ(13) それほど(0) いいえ(1)

問い : 戦争について知っていることはありますか。

回答 : はい(22) いいえ(13)

内容 : アメリカに負けた(5) 第二次世界大戦 原爆 竹で戦った B29 特攻隊 沖縄 脱脂粉乳 2回戦った 赤紙 空襲 大勢亡くなった 和田小に空襲被害(各1) 無答(5)

問い : 戦争にかかわるものやそれがあある場所を知っていますか。

回答 : はい(17) いいえ(18)

内容 : 原爆ドーム(10) 広島(6) 沖縄(1) 放射能(1) 和田小(1)

問い : 戦争を起こさないためには、どうしたらよいか考えたことがありますか。

回答 : はい(18) いいえ(17)

内容 : 外国と仲良くする・国どうし助け合う(12) 国どうし受け入れ合う・譲り合う(3) 自分の国を大切にする(1) 差別しない(1) 分け合ったり独立したりしない(1)

問い : この先、戦争について勉強します。どんなことが知りたいですか。

回答 : 開戦理由(18) 相手国(3) 終わり方(3) 回数(3) 食事・生活(2) 武器(2) 年数 被害 勝った回数 どんな戦争だったか 現在戦争中の国 国民の思い 時期 止めることはできなかったのか 政治家は解決できないのか(各1)

問い : 歴史について調べる宿題は(他の宿題と比べて)好きですか。

回答 : 好き(24) まあまあ(8) それほど(3) いいえ(0)

理由 : 見つかるとうれしい 次の時代も知れる 時間をかけて見られる 家族に聞ける(各2) 復習にもなる 範囲以外のことも見つかる 好きになれる 発表できる 歴史は自分で調べられる いろいろ分かってワクワクする 計算がない(各1) <それほどの理由>パソコンや本が家にない(2) 難しい(1)

問い : どちらかを選ぶための話し合いは好きですか。

回答 : 好き(25) まあまあ(8) それほど(0) いいえ(2)

理由 : いろいろな考えが聞ける(3) 反対意見が聞ける(3) 自分の考えがもてる(2) 自分の考えが変わるから(2) 意見を言い合いまとまていくのが楽しい 同じ考えがいるとうれしい 考えが深まる 反対意見を考えるのが楽しい 調べても分からないことが話を聞いて分かる 考える力がつく なるほどと思える 考えが変わるとよい話し合いができたと思う 楽しく授業が理解できる(各1) <いいえの理由>メモが追いつかない 発表が苦手(各1)

問い : 一緒に住んでいる(または近くに住んでいる)家族に75歳以上の人はいますか。

回答 : いる(6) いない(29)

課題に対して意欲的に取り組む児童が多く、学習態度はまじめである。特に歴史に関心が高い児童が多く、熱心に資料を調べたり、丁寧に考えをまとめたりする様子が多く見られる。全体的な人間関係も落ち着いており、グループ活動では協力して作業を進めようとする態度が見られる。

これまでの社会科の学習では、討論やパネルディスカッションなどの活動を多く取り入れてきた。アンケートからは、話し合いで積極的に考えたり判断したりしようという雰囲気を感じられる。また、既習事項や調べたことを根拠に述べられた意見を聞く中で、自分の考えをより深いものにして

いくことができる児童も多いことがうかがえる。これは、話し合いが知識や技能を確かなものにし思考を深める上で効果的に働いていると言える。

また、アンケートから、戦争に関する知識については、断片的な知識しかない児童が多いことが分かる。しかし、開戦理由や回避方法に関する回答は多く、戦争学習への関心の高さがうかがわれる。

5 指導について

(1) 未来につながる力を育む場の設定

県社会科研究協議会では、「未来につながる力を育む」ために、「必要とされる基礎的な知識技能を確実に習得させること」と「自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること」が必要であるとしている。

社会科の問題を解決するためには、資料から得た知識や既知事項をもとに、判断したり考えたりする必要がある。そこで、資料や既知事項が複数あったり、資料の見方や判断の仕方がいろいろあったりすると、より良い解決が図られる。また、様々な資料の選び方や見方、判断の仕方に触れることで、資料活用や思考・判断の力が高まる。ここで、問題解決に意欲的であると、進んで資料を探したり、他の考えを積極的に聞いたりするため、より効果的に力がつく。

そこで、本小単元では、複数の資料や既知事項を用いたり、いろいろな方向から考えたりする価値があり、主体的に解決を図りたくするような学習問題を設けたい。また、いろいろな見方や考え方を児童同士が共有できる学習活動を計画していきたい。そのために、自分の考えを選択する型の学習問題を多く取り入れる。選択させることで、主体的に資料を探し活用しようとするであろう。そして、コミュニケーション活動を多くし、たくさんの資料や見方に触れさせたい。話し合いが好きと答えた児童の実態からも、選択型の学習問題を設け、コミュニケーション活動を取り入れていくことは、学習意欲を高め、効果的に知識や技能を習得させることにつながると考える。

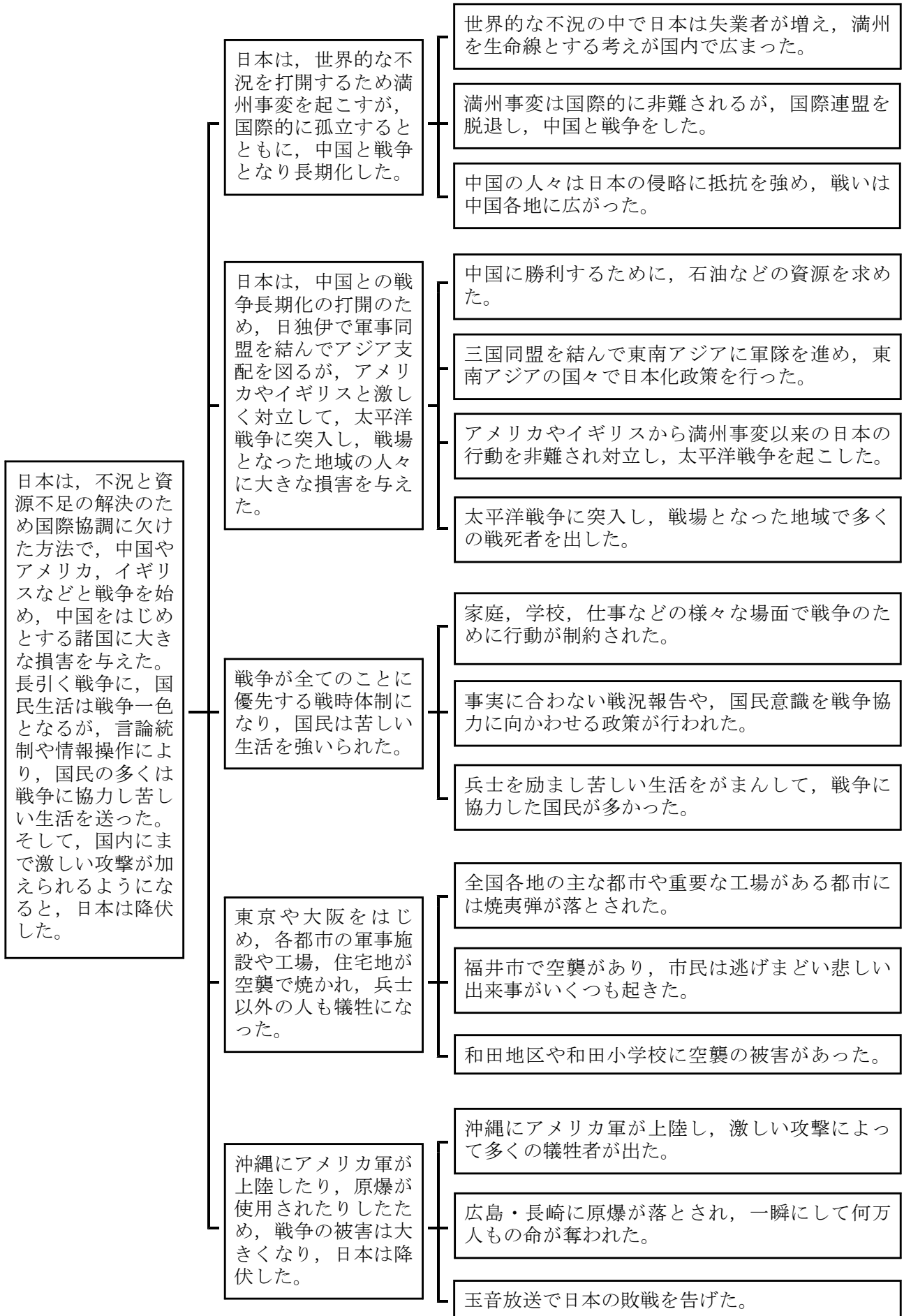
まず、事実調査では、戦争について賛否を問う学習問題を多く設け、話し合い活動を取り入れながら学習を進める。選択の場面は、「満州の占領」「太平洋戦争の開戦」「国民の協力意識」とする。児童は、それらを避けられなかったとする理由を考える中で、戦争が始まり長く続けられた原因をとらえ、それらを避けるべきだったとする理由を考える中で戦争の経緯をとらえることができる。事実を調べ終わったところで、戦争回避ができたならそれはいつかを問う。ここで児童は、事実調査で調べた資料や話し合いで他の児童の意見から得た知識を想起し、判断するだろう。すでに児童は、各選択場面で複数の資料を読み取り、それらを根拠に判断し、知識を得ている。さらにここで、既習事項を想起させながら選択させることで、既習事項が生きた知識として定着するとともに、基礎的な技能が高まっていくと考える。

(2) 身近な資料の活用

単元の導入にあたっては、地域に残る忠魂碑に焦点を当て、名前が記された戦死者の戦没地などから戦争被害を知らせ、戦争回避について考えていくための学習課題を導きたい。また、本単元最後の場面でも、忠魂碑がもつ戦争回避の意味をとらえさせたい。

戦争の被害については、和田地区や市、県の被害に関する史料や体験談など、児童に身近なものを資料集として準備し、主体的に学習する意欲を高めたい。

6 社会認識の構造図



7 指導計画 8 時間配当 (本時 2 時)

過程	学習内容	学習活動	○教師の留意点 ・資料 ☆評価
問題把握	問題把握	○和田地区に残る忠魂碑について知り、本時の学習課題をつかむ。	○教師の留意点 ・資料 ☆評価 ・和田八幡宮の忠魂碑の写真 ・和田地区の戦没者及び戦没地等の一覧表 ・昭和8年頃の東アジアの地図 ・福井県民の戦争体験記 ☆戦没地の広がりや地図にまとめたり戦争体験記を読んだりして、日本がアジアで行った戦争に関心をもつ。 【地図・発言・ノート】(関・意・態)(観・資) ・当時の日中関係を表す漫画 ・福井県(全国)の失業率 ○自分の考えの根拠となる資料を家庭で探すよう伝える。 ○教科書や資料集以外に、以下の資料にも、家庭で目を通させておく。 ・田中義一の意見文 ・国際連盟の採決結果 ・当時の中国の教科書表紙 ○賛成側の意見が戦争の原因を、反対側の意見が戦争の経緯を表していることに気付かせる。 ☆中国との戦争について資料を効果的に活用して調べ、戦争の実態や中国の人々の損害について考え、戦争の原因や経緯について理解することができる。 【発言・ノート】(観・資)(知・理)(思・判・表) ・米軍の石油制限に関する漫画
	問題・課題 忠魂碑は何のために建てられたのだろうか？ ～忠魂碑に彫られた人物について調べよう。～	○忠魂碑に名前が記された戦死者の戦没地を地図で確認し、日本がアジアを戦場に戦争をしたことに気付く。 ○戦争の被害の一部を知り、単元の学習課題をつかむ。 ・兵士はつらい思いをしたんだ。 ・なぜこんな戦争をしたのだろうか。	
	単元の課題 日本がアジアで行った戦争は、さけることができなかったか考えよう。		
事実調査／関係考察	中国との戦争	○資料を見て、日本は失業率が増加し、満州を占領したことを知る。 ・失業率が上がったからといって戦争しなくてはいけないのかな。	
	問題・課題 あなたは満州の占領に賛成か反対か？ ～満州の占領について調べよう。～	○学習問題について話し合う。 ・不景気を回復しないと失業者が増えて困るから賛成する。 ・国際連盟で反対されると世界から孤立して困るから反対する。 ・中国の被害が大きいと抵抗が続き困るから反対する。 ○困ることを確認し、日中戦争の原因と経緯についてまとめる。	
	まとめ 日本は、失業者を減らすため満州を占領したが、世界から孤立したり中国の抵抗にあい戦争が長引いたりした。		
本時	太平洋戦争	○資料を見て、日本は石油などの資源をめぐりアメリカと戦争したことを知る。 ・石油が足りなくなったからといってアメリカと戦争して勝てるのかな。	
	問題・課題 あなたは太平洋戦争開戦に賛成か反対か？ ～太平洋戦争について調べよう。～		
		○学習問題について話し合う。 ・石油がないと、日中戦争が続けられなかったり、資源のない生活になったりして困るから賛成する。 ・ハルノートを認めると、三国同盟や東南アジア支配が無駄になって困るから	
3		○自分の考えの根拠となる資料を家庭で探すよう伝える。 ○教科書や資料集以外に、以下の資料にも、家庭で目を通させておく。 ・ハルノートの内容 ・石油の備蓄量 ・東南アジアでの日本化政策にかかわる写真	

3

まとめ

日本は、資源を得て日中戦争を続けるために、日独伊で軍事同盟を結び東南アジアを支配したが、アメリカやイギリスと対立して太平洋戦争を始め、戦場となった地域の人々に大きな損害を与えた。

- 賛成する。
 - ・アメリカと戦力差が大きいのに戦うと日本に被害がたくさん出て困るから反対する。
 - ・東南アジアを支配すると、その地域の人々が困るから反対だ。
- 困ることを確認し、日中戦争の原因と経緯についてまとめる。

○賛成側の意見が戦争の原因を、反対側の意見が戦争の経緯を表していることに気付かせる。

☆太平洋戦争について資料を効果的に活用して調べ、戦争の実態や戦場となった地域の人々の損害について考え、戦争の原因や経緯について理解することができる。

【発言・ノート】(観・資)(知・理)(思・判・表)

戦時中の国民生活

- 「一つの花」を想起し、当時の国民の意識に関心をもつ。
- ・ゆみ子の家族は、戦争に行くのがつらかったらうな。
 - ・駅ではばんざいで見送っているな。

・4年国語「一つの花」

○自分の考えの根拠となる資料を家庭で探すよう伝える。

○教科書や資料集以外に、以下の資料にも、家庭で目を通しておく。

- ・当時の和田小1年生の作文
- ・戦勝を告げる嘘の新聞記事
- ・戦争反対者の逮捕の話
- ・「名誉之家」の写真

問題・課題

国民はこの戦争に賛成したか反対したか？
～戦時中の国民生活について調べよう。～

○根拠となる資料を賛成と反対に分け掲示する。

○児童雑誌や「名誉之家」など、判断が分かれる資料について、時間をとり、資料を確認したり丁寧に話し合ったりさせる。

4

- 学習問題について話し合う。
- ・軍事教練をして学校生活が無くなるのは嫌だから反対したたらう。
 - ・児童雑誌が戦争を題材としたものばかりになると楽しみが無くなるから反対したたらう。
 - ・学校で戦争の訓練をしたり、戦争が題材になっている児童雑誌をいつも見ていたら勝ちたくなると思うから賛成していたんじゃないたらうか。
 - ・嘘の情報を知らせる新聞記事を見て勝つ気になり賛成したたらう。
 - ・和田小学校の1年生が兵士を応援する作文を書いていることは賛成したと考えられる。
 - ・警察の取り締まりで反対とは言えず賛成を装っていたのではないか。
- 板書から、国民は賛成したか反対したかを判断する。
- ・賛成している様子がわかる資料はあるけれど、明らかに反対している資料はほとんど無い。
- それぞれの制度により無くなったものを確認し、無くなった理由を考える。
- ・学校生活や楽しみなどが戦争のために無くなった。
- 戦時中の生活の様子についてまとめる。

○明らかに反対している資料が少ないことに着目させる。

☆戦時中の生活の様子について資料を効果的に活用して調べ、戦時中の国民の気持ちについて考え、戦時中の国民生活が戦争一色になり、苦しい生活を強いられたことを理解することができる。

【発言・ノート】(観・資)(知・理)(思・判・表)

まとめ

国民生活は戦争一色になり、戦勝の情報や雰囲気の中で苦しい生活を送った。

4	空襲の被害	○資料から和田地区の空襲被害を知り、空襲の様子に関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・焼けた福井市の写真 ・福井市の戦火烧失地
	問題・課題 空襲でどのような被害を受けたのだろうか？ ～空襲被害について調べよう。～		○家族から戦争体験について聞き取り調査をするよう伝える。
		<ul style="list-style-type: none"> ○家庭学習で調べたことを発表したり、ゲストティーチャーから焼夷弾の説明を聞いたりして空襲被害に関心をもつ。 <ul style="list-style-type: none"> ・全国の主要な都市や工場がある都市で空襲があった。 ○焼けた福井市の様子を調べたり、ゲストティーチャーから福井空襲の様子を聞いたりする。 <ul style="list-style-type: none"> ・福井市でも空襲があり、民家が焼かれ悲しい出来事がたくさん起きた。 ○和田小学校の戦災について資料を読み、感想を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・和田小学校も焼かれ、先生も被害にあったなんてひどい。 ・全国で同じような被害や悲しい出来事があり、たくさんの国民が被害にあったなんて、悲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・空襲にあった都市の地図 ・実物の防空頭巾 ・和田小学校教員の空襲体験記
5	まとめ 各都市の工場や家が空襲で焼かれ、兵士以外の人も犠牲になった。		○児童の感想を生かし、空襲の被害についてまとめる。 ☆ゲストティーチャーの話や地図などから、兵士以外にも多くの国民が犠牲になったことを理解することができる。 【発言・ノート】(知・理)(観・資)
		○空襲時の報道を知り、戦況は正しく国民に知らされなかったことに気付く。	・福井空襲について伝える当時の福井新聞の報道
6	終戦までの経緯	○終戦の詔勅を聞き、当時の国民の気持ちに関心をもつ。	<ul style="list-style-type: none"> ・玉音放送 ・玉音放送を聞く人々の写真
	問題・課題 国民はどのような気持ちで終戦を迎えたのだろうか？ ～終戦までの様子を調べよう。～		
		<ul style="list-style-type: none"> ○教科書や資料集から沖縄の地上戦や原子爆弾の被害について調べる。 ○沖縄の地上戦や原子爆弾の被害に関するビデオを視聴し、国民の気持ちについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・県民の5分の1が被害にあったなんて戦争は恐ろしい。 ・原子爆弾は一瞬で何万人もの命やまちを吹き飛ばすなんて怖い兵器だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子爆弾の被害に関するビデオ
	まとめ 沖縄の地上戦や原爆投下により、日本は大きな被害を受けて敗戦した。		○児童の感想を生かし、空襲の被害についてまとめる。 ☆沖縄戦、広島・長崎への原爆投下により多くの人々が犠牲になり敗戦を迎えたことを理解し、当時の国民の気持ちを推測することができる。 【発言・ノート】(知・理)(思・判・表)
	戦争回避の方法	○戦争の被害を振り返り、戦争を防ぐ方法について話し合う意欲をもつ。 ○学習を振り返り、年表にまとめる。	○これまで学習した「満州事変」「太平洋戦争開戦」「国民生活」を中心に三段階にまとめる。

10 本時の学習過程（2 / 8 時間）

過程	学習活動	○教師の留意点 ・資料 ☆評価
つかむ 5	<p>○本時の課題を想起する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>あなたは満州の占領に賛成か反対か？ ～満州の占領について調べよう。～</p> </div>	<p>○児童に意思表示カードを配布する。</p>
考える 30	<p>○学習問題について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不景気を回復しないと失業者が増えて困るから賛成する。 ・国際連盟で反対されると世界から孤立して困るから反対する。 ・中国の被害が大きいと抵抗が続くと困るから反対する。 	<p>○教科書や資料集以外に、以下の資料にも、家庭で目を通させておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田中義一の意見文 ・国際連盟の採決結果 ・当時の中国教科書表紙 <p>○根拠となる資料をカードにしたものを賛成と反対に分け掲示する。</p> <p>☆中国との戦争について、資料を効果的に活用して調べることができたか。 【発言・ノート】(観・資)</p> <p>☆調べたことをもとに、戦争の実態や中国の人々の損害について考えることができる。 【発言・意思表示カード・表情】(思・判・表)</p>
まとめる 35	<p>○困ることを確認し、日中戦争の原因と経緯についてまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>日本は、失業者を減らすため満州を占領したが、世界から孤立したり中国の抵抗にあい戦争が長引いたりした。</p> </div>	<p>○賛成側の意見が戦争の原因を、反対側の意見が戦争の経緯を表していることに気付かせる。</p> <p>☆戦争の原因や経緯について理解することができる。 【発言・ノート】(観・資)(知・理)(思・判・表)</p>
つかむ 45	<p>○資料を見て、日本は石油などの資源をめぐりアメリカと戦争したことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石油が足りなくなったからといってアメリカと戦争して勝てるのかな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>あなたは太平洋戦争開戦に賛成か反対か？ ～太平洋戦争について調べよう。～</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・米軍の石油制限に関する漫画 <p>○自分の考えの根拠となる資料を家庭で探すよう伝える。</p> <p>○教科書や資料集以外に、以下の資料にも、家庭で目を通させておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハルノートの内容 ・石油の備蓄量 ・東南アジアでの日本化政策にかかわる写真